

**[招待作品部門]**  
Invited Works

『唇はどこ?』 98分/カラー ▶11/12[木]18:30~  
監督・脚本・編集:長崎俊一/撮影監督:渡部 眞/出演:久具巨林、廣瀬菜都美、宮谷達也、鈴木理恵子、山本一樹

リハーサルで起こる出演者たちのスリリングな変化

映画「唇はどこ?」に出演するため集まった5人の学生。延々と繰り返されるリハーサルで、監督から厳しいダメ出しを浴び、学生たちのフラストレーションは爆発寸前...時には衝突し、とまどいながらも、やがて温度差のあったメンバーたちの意識が変わっていく。名古屋学芸大学の映画プロジェクトとして製作された本作は、同校の教授であり「のようなもの」「らせん」などで知られる渡邊 眞撮影監督が迎えた名匠長崎俊一監督(「死国」「西の魔女が死んだ」)により、演出とは何か、演技とは何かという映画の本質に迫り、東京上映では1時間に及ぶ活発な質疑応答が展開された。「一体何のためにやるのか?」という自主映画の本質が凝縮された傑作。



名古屋発映画が、名古屋プレミア上映!  
キャスト陣が、芸文に集結!お見逃しなく!

Time Table

●ゲスト来場予定。開場は開演時間の10分前を予定。  
ほぼ毎回開始時間が変わります。ご注意ください!

第37回 PFF 検索

あなたも審査員に。「名古屋賞」に投票しよう!  
ご来場のお客様の投票により、名古屋会場のグランプリを決定します。ぜひご投票ください。

11.12 [木]	18:30~ 招待作品部門「唇はどこ?」 渡部 眞撮影監督ほか出演者多数、来場予定
11.13 [金]	18:30~ PFFアワード Aプログラム 「嘘と汚れ」 「わたしはアーティスト」
11.14 [土]	10:30~ PFFアワード Bプログラム 「モトリウム・カットアップ」 「マイフォーム」 13:15~ PFFアワード Cプログラム 「いさなとり」 「幽霊アイドルこはる」 16:00~ PFFアワード Dプログラム 「したさきのさき」 「船」 18:30~ PFFアワード Eプログラム 「ひとつのバガテル」 「みんな蒸してやる」
11.15 [日]	11:00~ PFFアワード Fプログラム 「あるみち」 「甘党革命 特定甘味規制法」 13:45~ PFFアワード Gプログラム 「ゴロン、パタン、キュー」 「異同識別」 16:30~ PFFアワード Hプログラム 「チュンゲリア」 「大村植物標本」

PiaFilmFestival @pff\_award

入選監督、続々来場予定! 最新のゲスト情報は公式サイトをチェック!  
PFFアワード2015の入選監督は以下の20名。直接、感想を伝えられる質疑応答タイムも。



Ticket

《全席自由席》 [Pコード:466-349]	前売券はチケットびあにて、絶賛発売中!	
分類	前売券	当日券
		一般 学生
コンベンション部門 PFFアワード2015	1回券 800円	1,000円 700円
	アワードフリーパス (限定30枚・カタログ付き)	5,000円 6,000円
招待作品部門「唇はどこ?」	1回券 1,200円	1,500円 700円

【前売券の販売について】  
●前売券の販売は、11月11日(水)まで。  
●チケットびあ(店舗、インターネット、電話予約)、サークルK・サンクス、セブン-イレブンで販売。  
●チケットびあ、サークルK・サンクス、セブン-イレブンの店舗で直接購入する場合、発券手数料として108円/枚がかかります。  
●インターネット、電話予約にて購入された場合、発券手数料およびシステム使用料として、324円/枚がかかります。  
インターネットで購入: <http://pia.jp/t/pff/>  
チケットびあ音声認識予約: 0570-02-9999  
●前売券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。

【当日券の販売について】  
●学生は、当日券が最安値=大幅割引料金で鑑賞可能です。  
●愛知芸術文化センターのみで販売。  
●当日学生券購入の際は学生証の提示が必要です。

30枚限定! お得なアワードフリーパス!  
公式カタログ付きのお得なアワードフリーパスで、全20作品を制覇しよう!

会場 愛知芸術文化センター 12階アートスペースA  
[住所] 愛知県名古屋市東区東桜1-13-2 TEL:052-971-5511  
[交通アクセス] 地下鉄東山線・名城線「栄駅」、名鉄瀬戸線「栄町駅」下車、オアシス21連絡路経由徒歩3分  
[お問い合わせ] PFF事務局 03-5774-5296 (平日11:00~18:00)

37th PIA FILM FESTIVAL



映画の未来は  
ここにある

2015.11.12[木]-15[日] 愛知芸術文化センター  
12階アートスペースA

主催: PFFパートナーズ ぴあ ホリプロ NIKKATSU / UNI/JAPAN 公益財団法人ユニジャパン  
共催: AICHI ARTS CENTER aomoa 特別助成: 映像演劇文化協会 特別協賛: SEGA-SAMMY GROUP  
PFFサポーターズ: KLOCK WORKS TOPPAN BS日本映画専門チャンネル ROBOT 朝日新聞 三井住友VISAカード DOLBY JCB DISK GARAGE IJmio  
後援: 一般社団法人 日本映画製作者連盟 / NPO法人 映像産業振興機構 (VIPO) / 協同組合 日本映画監督協会

# 【コンペティション部門】 PFF Award 2015 PFFアワード2015

「PFFアワード」は、1977年から変わらず「自主映画」を応援するコンペティション。誰にも頼まれないのに、映画をつくらずにはいられない。その衝動を、情熱を、希望を、より多くの人に伝えたい。本年は577本の応募作の中から、約4ヶ月の厳正な審査を経て選出された20作品を一挙上映します。

※監督の年齢は応募時のものです。



▶11/13[金]  
18:30~



『嘘と汚れ』92分/カラー 監督: 猪狩裕子 (30歳/東京都出身)  
**勇気を出せなかったゆえに広がる罪** 審査員特別賞受賞  
自分の失敗を同僚の老人になすりつけた女性ゆい。自責の念と自己弁護が渦巻く彼女の内面を背中で見せ、その「汚れ」を観客に突きつける。監督の信念が滲む、長回しの力作。



『わたしはアーティスト』24分/カラー 監督: 簀下雷太 (31歳/京都府出身)  
**それって、フツーじゃん!** 審査員特別賞受賞  
友達のいない高校生の沙織は自撮りのビデオアート作りに夢中。という孤高の自己陶酔ぶりを揶揄する、もうひとりの私。特に女性からの人気が高い、ラブリーでキュートな成長物語。



『モラトリアム・カットアップ』38分/カラー 監督: 柴野太朗 (22歳/新潟県出身)  
**ゆく川の流れば絶えずして現代版**  
20歳のフミヤは徹頭徹尾アナログ人間、いわば過去に生きる青年だ。思い出話と妄想を現実の地平線上に自由自在に挿入し、万物流転をポップに描いた青春コメディ。巧みな編集に注目!



『マイフォーム』15分/カラー 監督: 跡地淳太郎 (28歳/青森県出身)  
**確かに存在した時間を心に焼きつける**  
亡き祖父の家で写真を撮り、古いアルバムを開く。家族の記憶が込み込む家で、彼女は祖父から確かにバトンを受け取る。セリフ無しで多様な感覚を喚起させる、奥行き深い作品。



『ムーンライトハネムーン』71分/カラー 監督: 富永太郎 (22歳/福島県出身)  
**男たちの滑稽さに泣き笑い** 準グランプリ受賞  
冴えない純朴な男子大学生は、美人同級生とひそかに交際中だが、ネットで彼女の着用済み下着を売って稼いでいた。熊切和嘉監督もハマった、性欲に支配された男たちの滑稽な物語。

▶11/14[土]  
10:30~



▶11/14[土]  
13:15~



『いさなとり』91分/カラー 監督: 藤川史人 (30歳/広島県出身)  
**かつて鯨が泳いでいた町で、生きる** 観客賞/日本映画ペンクラブ賞受賞 (バンクーバー国際映画祭 出品)  
化石探しに熱中する中学生男子は、町の歴史に触れ、身辺の変化も体験していく。広島県三次市に移り住んだ藤川監督が、2年間かけて現地の人々と共に制作。新たな試みが詰まった意欲作。



『幽霊アイドルこはる』35分/カラー 監督: 井坂優介 (26歳/茨城県出身)  
**死んでもアイドルになってやる!**  
高校生こはるは、自覚めると幽霊になっていた! 霊感がある人だけに見えるアイドルとして大人気に! かつて貞子に恋心を抱いていた井坂監督が描くコメディホラー。キュートな主題歌は必聴。



『したさきのさき』45分/カラー 監督: 中山剛平 (24歳/高知県出身)  
**彼の唾液をなめつくしたい** エンタテインメント賞(ホリプロ賞)/ジェムストーン賞(日活賞) 映画ファン賞(びあ映画生活賞) 受賞  
高校生の咲紀は智哉に片思い。彼の唾液に触れたい願望が抑えられずエスカレートしていくが...。思春期の痛さをスリリングに描く。監督の衝撃の実体験に基づく、ドキドキの青春残酷物語。



『船』16分/カラー 監督: 中尾広道 (36歳/大阪府出身)  
**メダカとドライブと小舟で宇宙を見せる**  
メダカを愛する都会暮らしの青年3人は、拾ったかわいい小舟を川に流すため、奈良の山へ。心地いい音楽に乗ったのどかなドライブが人生&宇宙讃歌へと広がっていく快感!



『帰って来た珈琲隊長』52分/白黒 監督: 佐々木健太 (30歳/北海道出身)  
**戦争中の生体実験と現代恋愛話の融合!**  
娘の体を借りた亡き隊長が元部下を訪れ、戦時の生体実験の記憶と現在の恋愛話が交錯する。重さと軽さを絶妙に織り込みつつエロスも濃厚に漂わせた、8mmフィルムの異色作。

▶11/14[土]  
16:00~



9月の表彰式で最終審査員らにより、各賞が発表されました

最終審査員(敬称略): 奥田瑛二(俳優・映画監督)、大友啓史(映画監督)、阿部和重(小説家)、熊切和嘉(映画監督)、西村義明(プロデューサー)

第37回 PFF

検索



▶11/14[土]  
18:30~



『ひとつのバガテル』72分/カラー 監督: 清原 惟 (22歳/東京都出身)  
**音楽の効能と真摯に向き合う**  
少女アキは、ピアノで繰り返し同じ曲を弾く。さまざまな人の感情や言葉を受け止めながら彼女がブレないのは、音楽という道しるべがあるから。音楽の意味を映画で探る野心作。



『みんな蒸してやる』41分/カラー 監督: 大河原 恵 (21歳/東京都出身)  
**主演も兼ねる監督の切実なる妄想、爆発!**  
エビ焼売屋で働くカヨコ。かかしになりたい男。おかしみあふれる人々とセリフが次々に登場し、主演も兼ねる監督の妄想センスが田園風景を背景に細部まで爆裂、大河原節にハマる人続出!



▶11/15[日]  
11:00~



『あるみち』85分/カラー 監督: 杉本大地 (21歳/東京都出身)  
**僕たちが辿ってきた日々を見つめる** グランプリ受賞 (東京国際映画祭 出品)  
トカゲ獲りに夢中だった小学生時代。念願の美大には入ったけど、トカゲ獲りのあのワクワクはどこに? カメラの存在を感じさせない自然な演技で、「映画が生きている」と称された平成男子物語。



『甘党革命 特定甘味規制法』38分/カラー 監督: 諸星厚希 (21歳/広島県出身)  
**独裁政治に今こそ革命を起こせ!**  
この国ではチョコレートが厳しく規制され、今や政府による甘党掃討作戦が進行中。日本甘党過激派のゲリラ青年たちと家出娘は、スニッカーズを食べつつ革命を目指す。驚異のVFX映像!



▶11/15[日]  
13:45~



『ゴロン、バタン、キュー』54分/カラー 監督: 山元 環 (22歳/大阪府出身)  
**釜ヶ崎のホームレスに愛を込めて** 審査員特別賞受賞  
21歳のあたるは横暴な父から離れ、心優しい老人とブルーテントに暮らす。やがて冷酷な現実と直面する。ロケ不可能と言われる土地で、ホームレス生活を躍動感いっばいに描いた入魂作。



『異同識別』20分/カラー 監督: 佐々岡沙樹 (32歳/山口県出身)  
**細部に没頭する喜びよ!**  
強盗事件の証拠物件として科捜研に送られてきた大量のガムテープ。研究員たちはガムテの奥深さに分け入り、ガムテの匂いを語りだしては盛り上がる。ガムテはロマンだ!!



『海辺の暮らし』37分/カラー 監督: 加藤正顕 (28歳/東京都出身)  
**英語習得と時給にこだわる浜の女**  
ネコムシの密漁をするハードボイルドな女は密漁監視員の男と出会う。魅力満点の人物たちと笑えるセリフ満載の天才的センスが、現実から浮遊した町のすみずみに行きわたる。



▶11/15[日]  
16:30~



『チュンゲリア』37分/カラー 監督: 峯 達哉 (26歳/奈良県出身)  
**スプラッター+ゾンビ+亀!**  
映画「念力先輩」を観終ると、外はゾンビが跋扈! 僕を「先輩」と呼ぶ女の子と川を目指す。予測不能な展開と愛や宇宙論にまで広がるセリフが、麻薬のように観客を痺れさせる。



『大村植物標本』19分/カラー 監督: 須藤なつ美 (24歳/東京都出身)  
**死んだおじいちゃんの影を求めて** (バンクーバー国際映画祭 出品)  
祖父が遺した植物標本に魅せられた少女チズは、会ったことのない祖父の影を求め。煙草を吹かすチズの年齢不詳感と仰天のラストで、多くの境界線をすんなり越える異色作。



『THE ESCAPE』67分/カラー 監督: 島村拓也 (25歳/東京都出身)  
**つねに誰かに監視されている恐怖**  
ある日、突然、何者かに執拗に狙われる。つねに監視されている恐怖がじわじわと迫り、ついに逃亡を決意するが...。画面に映るすべてが不穏な空気に満ちる真正ホラー。